

日教振第51号
令和5年7月7日

各位

一般財団法人日本語教育振興協会
理事長 佐藤 次郎

令和5年度日本語学校教育研究大会の開催について(ご案内)

当協会の事業運営につきましては、日頃多大の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
このたび、本大会を別紙1の実施要項により開催することといたしました。つきましては、ぜひ多数の方にご参加いただきたく以下の通りご案内いたします。

記

本大会はオンラインイベントサイト（EventHub）を利用して開催します。プログラム等詳細については、日本語学校教育研究大会特設サイト<<https://www.kenkyutaiikai.com>>でもご案内・随時情報更新をいたしますのでぜひご覧ください。

参加をご希望の方は、以下のいずれかの方法でお申し込みください。

- 1) EventHub フォーム< <https://client.eventhub.jp/ticket/vYwiyGGSe> >
申込締切日 2023年8月3日（木）
- 2) Google フォーム< <https://forms.gle/XrzoMFMmit9AXBSK6> >
申込締切日 2023年7月28日（金）

※申込方法によって締切日が異なりますのでご注意ください。

(添付資料)

- 別紙1 大会実施要項
- 2 大会趣旨
- 3 大会日程
- 4 事務連絡
- 5 メール用参加申込書

問合せ先 事業部（小野寺陽子・渡部）

TEL 03-6380-6557

FAX 03-6380-6587

Eメール nisshinkyo2@gmail.com

HP <https://www.nisshinkyo.org/>

令和5年度日本語学校教育研究大会実施要項

1 趣 旨

一般財団法人日本語教育振興協会維持会員及び準会員機関に勤務する教職員等を対象として、日本語学校教育のより一層の充実並びに日本語教育機関としての社会的地位の確立を目指し、各機関で展開されている豊かな教育実践を機関を超えて共有することを通して教職員の資質の向上を図ります。

2 実施方法 オンライン開催

3 日程

8月5日（土）

10:00～10:30	開会挨拶・大会趣旨説明
10:30～11:15	講演「文化庁の日本語教育施策の動向」
11:15～12:45	講演「生成 AI を活用した授業実践－教員の役割と課題－」
12:50～13:10	企業・団体展示ブース
14:00～15:30	分科会
15:45～17:00	実践ちよつと見

※日程等は変更になる可能性があります。ご了承ください。

4 参加資格等

- (1) 一般財団法人日本語教育振興協会維持会員及び準会員機関に勤務する教職員、その他関心のある者としてします。
- (2) 1 機関から多数の教職員に参加していただいて差し支えありません。ただし、定員（450 人）を超える場合は、お断りする場合がありますのでお含みおきください。

5 参加費（予定）

維持会員及び準会員機関	2, 200円（税込）/1人当たり
賛助会員	3, 300円（税込）/1人当たり
その他の教育機関、個人	4, 400円（税込）/1人当たり

団体割引：6名につき1名無料

6名分（同一機関所属）まとめてお申込みの場合、6人目の参加費が無料になります。

※複数回に分けて申し込んだ人数を合算して団体割引を利用することはできません。

※団体割引をご利用の場合は、必ず **Google フォーム** 又は **メール用参加申込書** からお申込みください。

＜令和 5 年度日本語学校教育研究大会趣旨＞

大会テーマ『新たな時代における日本語学校と日本語教師－制度化と AI 時代の中で－』

大会委員長 惟任将彦（大阪 YMCA 学院）

本年 6 月 2 日、「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律」が公布されました。この法律の目的は、「日本語教育機関の認定制度」と「認定日本語教育機関の教員の資格」の創設であり、来年 4 月 1 日より施行されます。このように、日本語学校と日本語教師を取り巻く状況は、1983 年の「留学生受入れ 10 万人計画」以来の 40 年間で最大の転換点に立っていると言えますが、その一方で、ChatGPT をはじめとする生成 AI が急速に進歩、普及し、日本語教育の現場においても、コミュニケーションとは、外国語学習や留学の意味とは、そして、日本語学校、および日本語教師の役割とは何かが問い直される状況となっています。

そこで、本大会のテーマを「新たな時代における日本語学校と日本語教師－制度化と AI 時代の中で－」といたしました。大会前半の午前には、二本の講演を予定しております。まず、文化庁国語課から日本語教育施策の動向について、おもに認定日本語教育機関と登録日本語教員に関する議論の現状をお話いただきます。その後、東京大学から中澤明子先生をお招きし、「生成 AI を活用した授業実践－教員の役割と課題－」と題し、アクティブラーニングにおける生成 AI 活用の実践と課題、および授業のデザイン等についてお話いただきます。

以上を踏まえ、大会後半の午後には、三つの分科会を予定しております。一つ目は、日本語教育機関の認定に大きくかかわることになる「日本語教育の参照枠」を生かしたカリキュラムデザインに関するもので、ワークショップが中心のプログラムとなります。二つ目は、今後ますます重要となる教員研修に関するもので、文化庁委託の日本語教員研修の「初任」「中堅」「主任」を実施なさっている先生方を講師にお招きし、研修の内容や受講者の声、課題等についてお話いただきます。そして三つ目は、生成 AI に関するもので、武蔵野大学の藤本かおる先生をお招きし、生成 AI との向き合い方や接し方、そのメリット、デメリット等についてお話いただきます。

そして最後に、日頃の授業等の実践を共有する場である「実践ちょっと見」を予定しております。教員同士の連携、協働に関する実践や、日本語学校と地域との連携に関する実践、また所属機関を越えた複数の教員による実践など、今回も非常に興味深い内容の実践発表が八本ございます。発表者と参加者による活発な意見の交換が楽しみです。

今、日本語学校と日本語教師は大きな転換点に立たされており、これからどうなるのか不透明な状況ですが、そのような中でも前向きにとらえ、新たなことに取り組んでいくための何らかのヒントを本大会で得ていただければ、それに勝る喜びはありません。なお、昨年度に引き続き、今年度もオンラインによる一日のみの開催となりますが、来年度はコロナ禍前のような対面での開催を予定しております。

令和 5 年度日本語学校教育研究大会日程

日 程 : 令和 5 年 8 月 5 日(土)

テーマ : 新たな時代における日本語学校と日本語教師－制度化と AI 時代の中で－

【午前の部】

10:00～10:30	開会挨拶 一般財団法人日本語教育振興協会理事長 佐藤次郎 来賓挨拶 大会趣旨説明 大会委員長 惟任将彦(大阪 YMCA 学院 教務主任)
10:30～11:15	講演「文化庁の日本語教育施策の動向」 文化庁国語課
11:15～12:45	講演「生成 AI を活用した授業実践－教員の役割と課題－」 中澤明子(東京大学 大学院総合文化研究科・教養学部 附属教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門 特任准教授)
12:50～13:10	企業団体展示ブース

13:10～14:00 昼休憩

【午後の部】

14:00～15:30	分科会「『日本語教育の参照枠』を参考にしたカリキュラムデザインに取り組んでみよう(仮)」
	分科会「もっと知りたい！初任・中堅・主任教員研修(仮)」 保坂敏子(日本大学大学院総合社会情報研究科文化情報専攻 教授) 小林ミナ(早稲田大学国際学術院 大学院日本語教育研究科 教授) 平岡憲人(清風情報工科学院 校長)
	分科会「生成 AI とどのように向き合うのか」 藤本かおる(武蔵野大学グローバル学部 日本語コミュニケーション学科 准教授)

実践ちょっと見

15:45～16:15	教科書『イラストでわかる子どものための日本語』の紹介 今井新悟・野丸昌寛(学校法人瀧澤学園千葉モードビジネス専門学校日本語科)
	NHK やさしいニュースを通じたグループ活動 杉本和昭・小野寺志津(日本つくば国際語学院)
	教員同士の授業見学活動 佐野恵里香(A.C.C.国際交流学園)
	美術館との連携授業・アートカードを用いた授業 津金和代・佐久間みのり・新井華子((学)石川学園横浜デザイン学院)

16:30~17:00	日本語教師【中堅】研修への参加経緯を可視化する試み 平山允子(日本学生支援機構東京日本語教育センター)、津坂朋宏(東京福祉大学)、栃丸華緒(長崎短期大学)、安原凜(環太平洋大学)、惟任将彦(大阪 YMCA 学院)
	日本語学校と地域をつなぐインタビューとフィールドワーク活動の実践 佐久間みのり(学)石川学園横浜デザイン学院)
	「理論を実践に生かす読書会」実施による気づき 今井友恵・桑田恵美子・中村妙子(早稲田 EDU 日本語学校)
	日本語授業で戦争を取り上げる意味－実践授業「戦争が遺したもの」を例に－ 萩原秀樹(インターカルト日本語学校)

※なお、日程については当日一部変更になることがあります。ご了承ください。

令和5年度日本語学校教育研究大会 事務連絡

I EventHub について

本大会はオンラインイベントサイト(EventHub)を利用して開催します。EventHub では、① 大会プログラムの確認 ②プログラム(Zoom ミーティング)へのアクセス ③資料の閲覧、ダウンロード ④参加者同士のメッセージ交換、オンライン名刺交換 ⑤大会終了後一部プログラムのアーカイブ動画視聴 ができます。

本大会への参加を有意義なものにしていただくために、ぜひご参加の前に別紙マニュアルをご一読ください。

II 参加申込みについて

以下のいずれかの方法でお申し込みください。ご参加には EventHub 登録用のメールアドレスが必要です。

【！】他の方と共有できませんので、お一人様につき1つのアドレスをご用意ください。

【！】招待メール・大会のお知らせ等を「@eventhub.jp」ドメインのメールでお送りします。ドメイン指定をされている場合は、「@eventhub.jp」を受信可能に設定してください。

1人ずつ手続可能 クレジットカード決済	EventHub フォーム https://client.eventhub.jp/ticket/vYwjjyGGSe 申込締切 2023年8月3日(木)
--------------------------------------	--

【！】支払いはクレジットカード決済のみ。

【！】1度の手続きにつき1人分のみお申し込み可能。2人目以降のお申し込みは、再度フォームにアクセスしてお申し込みください。

- ・申込み～参加費支払い～EventHub ログインまで web で完結します。
- ・領収書(PDF)は、EventHub から印刷またはダウンロードできます。

1人～12人まで手続可能 銀行振込 団体割引あり	Google フォーム https://forms.gle/XrzoMFMmjt9AXBK6 申込締切 2023年7月28日(金)
---	---

【！】支払いは銀行振込のみ。

参加申込み受付け後、3日以内(土日祝日除く)に、当協会から受付番号・参加費金額・振込先口座等が記載されたメールをお送りしますので銀行振込にてお支払いください。お支払いを確認後、EventHub へログインするための招待メールをお送りします。

【！】団体割引:6名につき1名無料

6名分(同一機関所属)まとめてお申込みの場合、6人目の参加費が無料になります。

- ・複数回に分けて申し込んだ人数を合算して団体割引を利用することはできません。
- ・団体割引をご利用の場合は、必ず Google フォーム(又は Eメール用参加申込書)からお申し込みください。
- ・12人までまとめてお申込みができます。13人目以降のお申し込みは、再度フォームにアクセスしてお申し込みください。
- ・領収書の発行はいたしません。銀行の発行する振込金受領書をご利用ください。

上記方法でのお申し込みが難しい場合は、Eメールでのお申し込みも受け付けます。

参加費

維持会員及び準会員機関	2, 200円(税込)/1人当たり
賛助会員	3, 300円(税込)/1人当たり
その他の教育機関、個人	4, 400円(税込)/1人当たり

- ・参加の有無に関わらず、参加費ご入金後の返金はできませんのでご注意ください。
- ・銀行振込の場合、振込手数料は参加者または各所属機関でご負担願います。

Ⅲ 講演に対する事前質問について

文化庁講演については、事前に講師への質問を受付けます。質問は EventHub ログイン→スケジュール→各講義の欄からご入力ください。

質問締切 2023年7月24日(月)

Ⅳ ZOOM 参加について

プログラムは Zoom のミーティングを使用して行います。予め ZOOM に接続できる環境を各自でご準備ください。

パソコンで Zoom を利用する場合は、Zoom アプリをダウンロードしなくてもブラウザから参加できます。その場合は、Google Chrome、Firefox、Chromium Edge のいずれかのブラウザをご利用ください。

スマートフォン又はタブレットで Zoom を利用する場合は、事前にアプリをダウンロードしていただく必要があります。

(ダウンロード先 URL <https://zoom.us/download>)

協会では個別の環境に起因するトラブルについて、サポートはいたしかねますのでご了承ください。

Ⅴ ご参加に際しての注意事項

本大会の録音、録画、保存は禁止します。

EventHub ログイン情報等を参加者以外に共有すること、参加者以外の方が大会プログラムに参加することは禁止いたします。

Ⅵ 大会予稿集について

予稿集及び各プログラムの資料は、EventHub で閲覧、ダウンロード(PDF)ができます。公開時期等は随時 EventHub 上でご案内いたします。

令和5年度日本語学校教育研究大会《参加申込書》
一般財団法人日本語教育振興協会事業部行

会員番号		※当協会維持会員校及び 準会員校のみご記入ください。
所属 機関名		
TEL		
事務連絡用E メール		
申込担当者 氏名		

標記大会の参加を申し込みます。

(該当する□に☑してください。)

機関区分	<input type="checkbox"/> 維持会員校・準会員校	<input type="checkbox"/> 賛助会員	<input type="checkbox"/> その他
------	-------------------------------------	-------------------------------	------------------------------

団体割引:6名につき1名無料

6名分(同一機関所属)まとめてお申込みの場合、6人目の参加費が無料になります。

※複数回に分けて申し込んだ人数を合算して団体割引を利用することはできません。

	姓	名	部署	役職	EventHub登録用Eメールアドレス (アドレスの共有不可。各自ご用意ください。)
1					
2					
3					
4					
5					
6 無料					
7					
8					
9					
10					
11					
12 無料					

令和5年度日本語学校教育研究大会はオンラインイベントサイト(EventHub)を利用して開催します。以下、利用規約とプライバシーポリシーを確認の上、「同意します」にチェックしてください。

個人情報一般財団法人日本語教育振興協会、株式会社EventHub、当イベントの他の参加者に公開することを許可し、株式会社EventHubのプライバシーポリシー(<https://eventhub.jp/privacy/>)に同意します。

同意します

7月28日(金)までに、日振協事業部<nisshinkyo2@gmail.com>宛てお申し込みください。
受付後3日以内(土日祝日除く)にメールで受付番号等をお送りします。